

性感染症

～決して他人事だと思わないでください～

この数年、代表的な性感染症の一つ梅毒の報告数が急増しています。
患者の年齢層を見ると、ちょうど大学生の年代の若者が、その流行の中心にいます。
「自分には関係ない。」など、他人事のように考えてはいけません。

みなさんは、“性感染症”と聞くと、どのようなイメージを思い浮かべるでしょうか？ 性行動が盛んな人がかかる病気、かかったことが他人に知れると恥ずかしい病気など、決して良いイメージではなく、さらに、多くの人は「自分には関係ない。」と思っているのではないでしょうか。ところが、下のグラフが示すように、この数年に急増している梅毒患者の多くが、みなさんと同年代の20歳代の若者なのです。

最近の性感染症の急増の原因については、ネット上の性に関する情報の氾濫に対して教育が遅れをとっている、若者の性に関するモラルが低下しているなど、いろいろな見方がありますが、どれも決定的なものではありません。ただ、事実として、大学生と同年代の若者が性感染症の蔓延の中心にいることが認められ、これを見過ごすことはできません。

性感染症は、単に、性器が痒くなったり、排尿時に性器が痛くなったりするだけではありません。不妊の原因になったり、病状が進行して死に至ることもあり、大変恐ろしい病気です。

では、自分が性感染症にかかるないようにするにはどうすれば良いでしょうか？

まずは、性に関する正しい知識、性感染症に関する正しい知識を持つことが大事です。ネット上には、性に関するさまざまな情報があふれていますが、それらが必ずしも正しい情報であるとは限りません。その情報が誰から出ているのか、どこから出ているのか、根拠や証拠はあるのか、情報源をしっかり確認しなければいけません。誤った情報を鵜呑みにして誤った行動をとれば、取り返しのつかない大変な結果を招く恐れがあります。公的機関など、信用できる情報源を利用してください。

重要なこととして、パートナーとは、1対1の関係を守ってください。同時に複数のパートナーを持つことは、相手に対する裏切りであるだけでなく、もし、性感染症にかかった場合、自分が誰からうつされたのか分からず、自分が誰にうつしているのか分からないという状況になってしまいます。性感染症の治療は、かかった人だけでなく、うつした人も治療を受けることが重要です。そうしなければ、さらに感染を広げることになるからです。

性感染症は、数ある感染症の中で、最も予防することが容易な感染症の一つです。ただし、これには、正しい知識を持って、適切な行動をとることが必須です。決して他人事だと考えず、正しい知識を身に付け、しっかり自分の身を守ってください。

(保健管理センター・センター長・羽賀 将衛)

